

Report

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

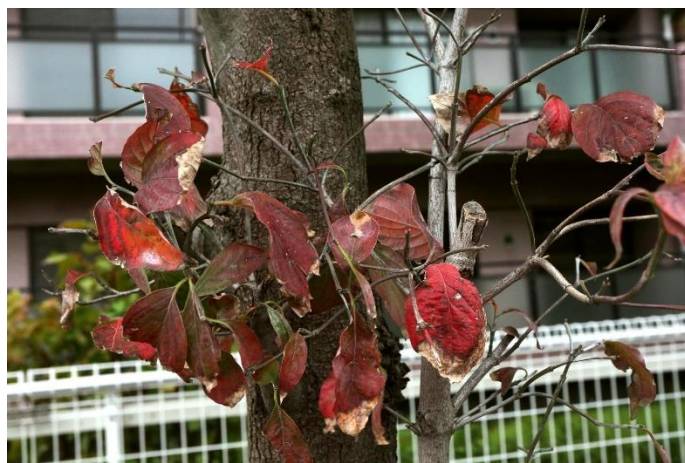
2022.10.13

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

10、11月の石神井川観察は、10/13(木)、10/28(金)、11/10(木)、11/25(金)
9:30JR社宅前街路の観察 10:00帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

10/13の石神井川緑道植物観察は4名の参加でスタートしましたが、途中で降雨のために解散。



あとは自由行動としました。

日替わりの秋と冬

今年の「紅(あか)」はきれいではないかも

木々の紅葉は、秋の少し暖かい日々が続いた後に本格的な寒さがやってきて、寒い日が続くときれいになるのですが、今年は毎日の温度変化が10℃高くなったり低くなったりの繰り返し。人間は外出時に何を着ていこうか迷っても選択の余地があるのに、植物はそれがないのがきついですね。JR社宅前の歩道に植栽されたハナミズキ(上左)は紅の色も悪いし、色素が抜けて白くなっているところもあり、ぶちまだらできれいではありません。ドウダンツツジ(上右)は紅葉が進んでいる株とそうでないものがあり、これまたまだら紅葉。

そんなこんなでも、緑道の秋は急ぎ足で深まっていきます。



新歩道に生えてきた植物 大型・変形が目立つ



4月の工事が完了した大学附属病院北側の新しい歩道の植え込みは、オオブタクサとかオオイヌタデ、ヨウシュヤマゴボウなどの大型の野草がにょきにょきと生えてきていますが、この2種も、なんか変です。左はシソの仲間には違いなのですが、葉はごわごわで表が緑がかり、裏はアカジソそのもの。右下の写真はシロザの新芽なのですが、この草丈は2m近くも伸びています。植物図

鑑を見ると1.5mぐらいには背を伸ばすとあるので、間違いはないと思うのですが、人の背丈よりも伸びたシロザを見たのは初めてでした。

ここまで行くと「生物多様性が増したからよい」とも言い切れない。環境に変化をもたらす、結構、深刻な問題だと思ふようになりました。



10/8 緑道のアートをめぐるツアーに参加しました



石神井川沿いに住んで、アート作品を描いている若いママさんが企画した「**緑とアートのスタンプラリー**」が行われました。いつもはまったく関心を向けてこなかったのですが、観察コースの緑道には小学校の子どもたちやアーティストによる彫刻作品が飾られています。そこに目を付けて、緑道の緑と一緒に楽しむ企画だということで、石神井川観察のみなさんにも呼び掛けて4名がボランティア参加しました。4ファミリー、総勢20名が緑道をぞろぞろ。ただ歩くだけでなく、アート作品のお掃除、緑道のごみ拾い、そして植物観察をしながら、氷川神社から北区境まで、予定オーバーの3時間をもものともせず、みなさん楽しんでいました。若いみなさんのエネルギーってすごい！ 企画力も実行力もすごい！

